

岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校 ～保育士養成科～

当科は平成26年に開設されて、これまでの卒業生は149名。まだまだ駆け出しの指定保育士養成施設です。今年度は新型コロナウイルスの猛威の中、対応を試行錯誤しながら6月から対面授業を継続しています。さらに、今年の1月8日から2度目の緊急事態宣言が発令されましたが、3密を避けるために、教室を分けての分散授業や、マスク着用・換気・消毒の徹底とともに体調管理を徹底しつつ、在校生・教員共に頑張っています。今回はその様子を御報告いたします。

【入学式】

令和2年4月7日にコロナ禍のため、間隔を空けて、短縮して入学式を行いました。集合写真も着席している席から振り向き、撮影時のみマスクを外して行いました。これからの学生生活の門出を祝うとともに各人がしっかりと保育士として現場に立つという気持ちが凛とした表情にあらわれていました。

【対面授業】

4、5月は週2回の課題配信と提出を行う通信教育を時間割の通り実施しました。緊急事態宣言が解除された6月からは対面での授業を再開しました。2年生は11名しかおりませんのでそのままに、1年生は1クラスが16名以下になるように二つの教室で双方向会話ができる視聴環境で対面授業を再開しました。

7月からは、1年生もテーブルの真ん中に衝立を付けたり、マスク着用・手洗いうがい・消毒・換気の徹底をしながら31名が一教室に合流しての授業を再開しました。

今年1月12日からは、2度目の緊急事態宣言に伴い、1年生は再び6月のような2教室を利用しての対面授業を行っています。



(現在の対面授業環境)



(2年生模擬面接の様子)

【模擬面談】

コロナ禍において、就職面接の時期を遅らせるとかオンライン就職面接に切り替える企業が増える中、7月9日に6社の保育園や児童福祉施設の就職担当の方に来校いただき、マスクと手作りフェースシールドを使っでの対面での模擬面接会を開催いたしました。

実際に採用面接をされる方に御越しいただいたので、学生達は緊張感をもって取り組むことができました。最初は緊張もあり、うまく思っていることが伝えられなかったのですが、その場で面接官のアドバイスが聞け、2回、3回と経験するにつれて堂々と自分の思いを伝えられるようになりました。面接が苦手だと言っていた学生が自信をつけ、実際の採用面接も無事に通り、内定をいただくことができました。

岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校 ～保育士養成科～

【就職ガイダンス】

コロナ禍において、オンライン就職相談会が増える中、7月16日に保育園や児童福祉施設の就職担当の方に来校いただき、マスクを使って、更に面談する際の面談者の間隔を広く取って対面での就職ガイダンスを開催いたしました。

保育園や児童福祉施設の採用担当の方々もコロナ禍における採用活動には御苦労をされていて、本ガイダンスでは、施設の思いを学生に直接伝えられると、限られた時間の中で活発なやりとりがありました。



(2年生就職ガイダンスの様子)



(1年生 うさぎ野原のクリスマス)

【成果発表会】

令和2年12月9日にコロナ禍で、学園祭が中止となったこともあり、日頃の成果を発表できる場として、新型コロナウィルス感染防止に留意しながら成果発表会を開催しました。

学生同士で声をかけながら授業の合間を使って、大道具・小道具の製作や読み合わせなどをし、時には仲間と雑談をしながら最後のリハーサルまで入念な準備をしている姿がとても印象的でした。

最後はクラスや学年関係なく「先輩の劇はすごいなー」とか「役になりきっていて面白かった」などの声が学生から聞け、無事に終えた達成感でいっぱいでした。



(2年生 おおきなから)